

北諫早の風

【校訓】

- えがお (徳)
- ゆめ (知)
- げんき (体)

諫早市立北諫早小学校
学校だより
令和8年5月8日 (金)
文責：原田 秀紀

4月を振り返って…

進級と新学期の期待に胸を弾ませながらスタートした4月が足早に過ぎていきました。各教室では、1年間みんなが楽しく仲良く安心して過ごすための約束事や学習の仕方などを確認したり、係決めや行事の準備に取り組んだりした1か月でした。短期間ではありましたが、子どもたちは、新しいクラスメイトや他学年の子どもたちと協力して新しい学年の生活を歩みを始めたところです。少しではありますが、学校での子どもたちの様子を紹介します。



学習しやすいように、教科書やノートなどを決められた場所に置きます。利き手の違いで置く場所が異なります。



入学したばかりの1年生も担任の先生の話をしっかり聞いて学習しています。「ゲー・ペタ・ピン」の姿勢が保てています。



問題を解いた後に、考えを共有したり教え合ったりして学びを深めています。お互いに解けたら喜び倍増！



「春探し」の学習です。子どもたちは、きれいに咲いた草花の花びらや葉の特長をしっかり観察して、スケッチしています。



まわりの動きを感じて、自分の目で縦、横の列を見て、並ぶ力は集団生活の上で大切な要素です。今も昔も変わりません。



給食の配膳を協力しながら上手にしています。火傷しないように、こぼさないように気を付けて。しっかり役割が果たせています。

保護者の方々も経験されているのでお分りのとおり、学校では個人に合った個別指導も行いますが、大半は一斉指導です。学級の約束事を守ることにより、集団生活を効率よく進めることができます。その時に大切になるのが、話を聞き逃さないこととまわりを見て、心で感じて行動する力です。これらの力は小学校だけではなく、保育園や幼稚園、中学校、高等学校、大学、社会に出てからも必要な力ですが、最も練習する機会が多いのが小学校だと思います。それは、大人が伝えたことを理解できるようになり、自分で行動する力も少しずつ成長してくる発達段階にあるからです。先日入学した1年生でも、集団下校の際に教師の指示を聞いて色別の集団に並んだり、給食時には2列に並んで教室から配膳室まで食管を取りに行ったりと、入学前に身に付けた集団行動の力を生かしながら学校生活を送っています。頼もしいことです。さらに自ら気付いて行動できるように、聞く力・感じる力を磨いてほしいです。

力を合わせて守る命

先月24日（金）、第1回目の避難訓練を実施しました。「地震」を想定しての訓練でしたので、「揺れがおさまるまで机の下に身をかかめておくこと」や「放送をしっかりと聞くこと」「避難する時は、本や月金バックなどで頭を守ること」「騒いだり戻ったりしないこと」など、地震災害に特化した避難の仕方を事前に学習してからの訓練となりました。600名以上の子どもたちが避難しますから、目標とする時間を少しオーバーして、そして事前に学習したことは半分ぐらいの達成度だと予想していたのですが、嬉しいことに予想を裏切ってくれました。



- 避難開始から避難場所（運動場）までの所要時間：5分以内
- 静かに怪我をせずに全員が避難できました。

もし、実際に地震が発生した場合には、プール側校舎や中央校舎の子どもたちの避難経路や避難場所については、今回のように運動場というわけにはいかないと思っています。職員で連携して子どもたちの命を守るための適切な判断を早急にしなければなりません。災害が起きないことがいちばんですが、万が一へ備えて常にシュミレーションをしているところです。日本全国で大小の地震が発生している昨今、お子様とご家庭で、ぜひ話題にしてみてください。



運動会のスローガン決まる

ゴールデンウィーク明けの7日（木）6校時に、企画委員会が中心となって4年生以上の学級代表と各委員会の代表が一堂に会して第1回代表委員会が開催されました。議題は「運動会のスローガン決め」と「運動会に向けた諸準備の役割分担」でした。

特にスローガンに向けた話合いでは、最後の運動会となる6年生の思いや4・5年生の特色ある言葉が取り上げられ、運動会でめざすものを絞り込んでいきました。最終的には2つの案の中から多数決で1つに決まりましたが、代表委員会に参加した子どもたちの希望や願いが詰まったスローガンとなりました。

みんなでつなぐ 勝利のバトン！

昨日から本格的に運動会の練習が始まりました。各学級・学年で子どもたち一人ひとりの絆が強く結ばれ、本番に向けて心がひとつになっていくことを期待しています。